

主要施策名:(2)コミュニティ活動の充実

事務事業本数:3

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
⑥公平で誇りの持てる社会づくり	(2)コミュニティ活動の充実	(3)地域コミュニティの担い手育成	623-1	公民館支館活動推進事業	コミュニティ推進課
		(2)コミュニティ活動拠点の整備	622-1	自治公民館施設整備事業	コミュニティ推進課
			622-2	岱明防災コミュニティセンター建設事業	コミュニティ推進課

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉名市公民館支館長育成事業	支館長会議・研修会を開催する。	研修会実施回数	回	3	2	1	5
② 玉名市公民館支館活動推進事業	公民館支館運営のために委託料を支出し、活動支援を行う。	委託料交付団体数	団体	21	21	21	21
③ 岱明町公民館支館事業支援業務	支館活動を通じたまちづくりの支援を行う。	支援支館数	支館	4	4	4	4

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(支館事業参加人数)	11194	9923	644	10000
投入コスト合計(千円)	15,447	17,940	17,745	15,327
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	2	28	2
コスト評価(対前年比)	***	76.33% (↓)	6.56% (↓)	179.77% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 支館事業参加人数割合	支館が主催した事業の参加人数の人口に対する割合(毎年度3月31日を人口を基準とする)	%	15.1	15.2	9.2	15.0
2 支館長研修参加率	支館長対象研修の参加率。研修参加支館長延べ人数/(21支館×研修回数)	%	—	—	—	100
* 成果未達成時の理由	新型コロナウイルス感染拡大のため、支館のほとんどの行事が中止となったため支館行事への参加割合は大幅に減少した。研修に関しても、新型コロナウイルス感染拡大のため当初予定していた研修が開催できず、急遽、地域課題解決につながる内容の公					

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(該当しないため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	支館への活動委託という形の見直し等を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、検討を行うための会議が開催できなかった。ただし、少しでも新たな取り組みをすべく、地域課題の解決につながる研修を支館長に対し呼びかけを行い、一部の支館長の受講につながった。			
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	形骸化していた市外への一泊二日の支館長研修も、内容を検討し、先進地視察や九州管内の県や自治体等が行う研修への参加(日帰り)へ切り替えた。今年度は、地元の抱える問題等の解決につながるような研修を2回、今後の地域運営に関する先進地視察を1回予定している。コロナ過での意見集約は困難であるが、地域課題の解決講座の開催を希望する支館への講師派遣の検討につながるよう情報収集を行う。			
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	1年を通してコロナ禍にあったことから、支館活動自体の大半が中止を余儀なくされたことから、コロナ禍での活動支援を模索するとともに、各支館に何が必要なのかを見極めながら、それぞれの実情に応じた支援を提供していく必要がある。	評価責任者 平川 伸治
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 自治公民館施設整備補助事業	公民館の新築・改修・修繕を行う行政区に対し、補助金交付を行う。	補助金交付単年度件数	件	3	7	6	5
②	公民館の新築・改修・修繕を行う行政区に対し、補助金交付を行う。	補助金交付累計件数	件	105	112	118	123
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(補助金交付件数)	3	7	6
投入コスト合計(千円)	2,329	4,572	3,560	4,399
対象1単位あたりのコスト(千円)	776	653	593	880
コスト評価(対前年比)	***	118.86% (↑)	110.08% (↑)	67.44% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 自治公民館整備率	H17年度以降の補助金累計交付件数/全自治公民館数(258) × 100	%	42.2	43.4	45.3	47.6
			40.6	43.4	45.8	
2						

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
		・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
		・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価
		・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	a 高い
		・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b やや高い
		・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	c やや低い
		・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	d 低い
		・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	a
		・成果指標を設定している	有効性評価
		・成果指標の目標値を達成した	a 高い
		・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b やや高い
		・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	c やや低い
		・法定事務であり成果は求めにくい	d 低い
		・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	b
		・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
		・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
		・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 0.00 %】
		・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(補助金であるため)	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和3年度に向けての調査(区長対象の自治公民館修繕予定)に基づき、予算要求を行ったため、大幅に予算の削減ができた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	引き続き、地域活動の拠点である自治公民館の整備補助を行う。高齢介護課の介護予防拠点整備補助金(100%補助、上限有)も該当するような修繕であれば案内を行っているが、昨今介護予防拠点整備補助金での修繕後に追加で介護予防補助金に該当するような修繕の申し込みや相談が多いため、申請をする際十分修繕箇所を検討するよう区長等に説明をし、区の負担を減らすよう働きかける。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
自治公民館は地域コミュニティを安全安心に行うための拠点となる施設であることから、補助金の周知に努めると共に、行政区の要望に応えるべく丁寧な説明対応を継続する。	平川 伸治

